

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和3年度 教育委員会 第2回臨時会)

開会 令和3年7月20日(火)

閉会 令和3年7月20日(火)

午後2時00分

午後3時04分

場所 西宮市役所東館8階分室

出席委員	教育長 重松 司郎 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫	欠席委員		
会議に出席した職員	職	氏 名	職	氏 名
	教育次長	藤井 和重	西宮市立西宮高等学校	
	教育次長	佐々木 理	教科用図書選定委員会	野川 誠
	教育総括室長	薩美 征夫	委員長	
	参与(人事担当)	八橋 徹	西宮市立西宮東高等学	
	参与(教育政策推進担当)	岡崎 州祐	校教科用図書選定委員	中村 みはる
	学校支援部長	吉田 巖一郎	会委員長	
	学校教育部長	漁 修生	西宮市立西宮養護学校	
	教育総務課長	竹村 一貴	教科用図書選定委員会	坂口 紳一郎
	教育企画課長	原田 博司	委員長	
	学校教育課長	都志 啓二	義務教育諸学校教科用	
	教育研修課長	木田 重果	図書選定委員会副委員	宮田 聡
			長	
			教育企画課係長	瀧井 佑介
			教育総務課係長	青木 威
署 名	教育長		委員	

付 議 案 件

<議 題>

議案第24号 令和4年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件
(学校教育課)

議案第25号 令和4年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件
(学校教育課)

以 上

傍 聴

3名

重松教育長	<p>ただいまより、令和3年度 第2回 教育委員会臨時会を開催します。 議事録署名委員には、側垣委員を指名します。よろしくお願ひします。 ここで、各委員に確認します。 本日は傍聴希望者が3名おられます。 会議は公開が原則であり、本日の案件は非公開とする理由がないため、全て公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認め、全て公開とします。 それでは、事件表の順に審議を進めていきたいと思ひます。 では、議案第24号「令和4年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件」を議題とします。 学校教育課長、お願ひします。</p>
学校教育課長	<p>はじめに、教科書展示会について、報告をさせていただきます。 6月13日(日)から6月27日(日)までの間の法定期間14日間、総合教育センター及び西宮北口図書館にて開催いたしました。14日間で199名の来会がありました。アンケートの意見は195件ありました。事務局で集約したものを、参考資料として添付をいたしております。 教科書につきましては、数年前、教科書発行者が検定中の教科書を教員らに見せて謝礼を渡したり、自社の教科書を採択した高校に無償で教材を提供したりするなど、不適切な事案が発覚し大きな問題となりました。 事務局としては、選定委員会や調査員会にて、具体的事例を挙げて注意喚起することをはじめ、文部科学省による通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」を、4月7日付で全ての市立学校に送付するとともに、校長会議にて各校での周知及び指導を依頼し、市内の全教職員に公正確保の徹底を図ってまいりました。 西宮高校、西宮東高校、西宮養護学校の教科書につきましては、各校で設置された選定委員会において教科書を選定いたしました。このあと、各選定委員会委員長より採択の申請いたします。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございます。</p>

<p>西宮市立西宮高等学校教科用図書選定委員会委員長</p>	<p>それでは西宮高校選定委員会より、ご説明を願います。</p> <p>選定委員会を代表して、令和4年度に使用します教科用図書採択についての申請をいたします。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯についてご報告いたします。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において議決されました、「令和4年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に基づき、選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針の1番、本校の教育課程に照らし、指導上適切なものであること。</p> <p>2番、教材の分量、配分、設問等が学習に効果的であること。</p> <p>3番、本校生徒の学習能力に適応したものであること。と決めました。</p> <p>この基準に則って、各教科を中心に専門的な見地から研究、調査研究を進めてまいりました。</p> <p>本校における教育活動を取り巻く状況は、平成21年度入学者から複数志願選抜が導入され、平成27年度入学者から学区の拡大へと変化してまいりました。</p> <p>このことを踏まえまして、本校生徒の特徴を見極めながら、慎重に調査研究を進めてまいりました。</p> <p>具体的には、本校に入学してまいります生徒の多くは、学習意欲が高く、国公立大学への進学を第1希望としております。ほぼ全員が「大学入学共通テスト」を受験する予定でもあります。生徒、保護者共に学校に対する期待度も高く、先生方もそれに応えられるように努力をしております。</p> <p>教科書の選定につきましては、「基礎から応用まで、自学・自習が可能なもの。併せて高いレベルの発展事項も掲載されていること」「主体的・対話的で深い学びへとつなげることができる授業、そのための教材が充実している」と考えられる教科書を中心に検討してまいりました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識経験者から構成します選定委員会を6月16日に開催しまして、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>その結果は、採択申請書の7ページから31ページに記載しております。</p> <p>本校には、普通科とグローバル・サイエンス科がありますので、2種類の申請書を用意しております。</p> <p>普通科についての申請書は、7ページから10ページとなっております。</p> <p>申請する教科書を全て記載しておりますので、ご覧ください。</p> <p>一番右の選定理由の欄が空欄の教科書は今年度使用しているものと同じ教科書を</p>
--------------------------------	--

申請しております。

選定理由の欄に文書表記のある教科書は、今年度使用しているものから変更したものであるということになります。

変更しました教科書だけを見やすく整理したものが11ページから15ページの選定理由報告書となります。

なお、参考資料としまして16ページから18ページに前年度対比資料も添付しております。

それでは、16ページをご覧ください。

右側が今年度使用している教科書、左側が来年度、令和4年度に使用したいと考えている教科書となります。グレーの塗りつぶしになっているものは、今年度に当該生徒が既に使用している教科書を進級しても引き続き使用する予定のもので、今回の採択の対象外となっております。

黒塗りに白字で記載されているものは、今年度から変更したものととなります。

それ以外は今年度と同じ教科書となります。

それでは、11ページをご覧ください。

まず No. 1 の現代の国語については、テーマ性を意識した構成となっており、思考力・表現力育成に対するアプローチが具体的であること。デジタル教材が豊富で、作品ごとにQRコードを利用することができる点などから、数研出版の教科書を選定いたしました。

No. 2 の言語文化につきましては、指導教材として適切な作品が選定されており、文法事項や重要トピックも充実しております。また、資料提示のレイアウトも工夫されており、生徒の興味関心を深めることができます。デジタル資料も豊富であるという点から、数研出版の教科書を選定いたしました。

No. 3 の歴史総合につきましては、内容理解を促す資料として、グラフ・新聞記事など多数記載されています。主体的に考える授業を実施しやすく、また、付属のノートに発問が多く掲載されており、深い学びにつなげることができることなどから、山川出版社の教科書を選定いたしました。

No. 4 の公共につきましては、生徒目線のコラムや問いかけが掲載されておりまして、高校生との深いかかわりを示す例があり、学習している内容が身近なものであることが実感できます。また、課題の本質や原因を考察する「思考実験」などを通して、実社会の諸問題について考えることができる、こういった点から、帝国書院の教科書を選定いたしました。

No. 5 の数学Ⅰについては、数学Ⅱや数学Bと関連する分野について、発展という項

目で述べられています。また、複2次式、絶対値が入った方程式など、様々なタイプの問題も扱っている点などから、数研出版の教科書を選定いたしました。

No. 6の数学Aにつきましては、原因の確率について丁寧に記載されており、数学を利用して物事が判断されているという例が記載されている点など、数研出版の教科書を選定いたしました。

No. 7の化学基礎につきましては、適切な図、写真が使用されておりまして、本校生徒の興味関心を引くような記述内容の工夫も見られ、学習効果を高めることが期待できます。また、タブレットを用いて自学自習をすることにも適している点などから、数研出版の教科書を選定いたしました。

No. 8の保健体育につきましては、情報活用能力の育成につながる記載もあり、またデータも多く記載されております。また1冊にまとまっているという点などから、大修館書店の教科書を選定いたしました。

No. 9の音楽Iにつきましては、取り組みやすい曲が入っており、音楽のジャンルを問わず授業展開をしやすくなっております。また、細かい解説が各曲に記載されておりますので、生徒が意欲的に取り組むことができる、そういったことから、教育芸術社の教科書を選定いたしました。

No. 10の美術Iにつきましては、いろいろな時代の作品が紹介されております。また、制作に沿った技法、材料の説明なども分かりやすく、作ることへの興味、意欲がより深まる工夫がされているということから、日本文教出版の教科書を選定いたしました。

No. 11の書道Iにつきましては、書の古典資料が分かりやすく、鑑賞資料や解説量が適切であるということから、教育出版の教科書を選定いたしました。

No. 12の英語コミュニケーションIにつきましては、語彙や文法、文構造の習得、内容理解だけでなく、リスニング力、表現力もつけられるように構成されており、英語4技能の習得に適している点などから、桐原書店の教科書を選定いたしました。

No. 13の論理・表現Iにつきましては、各レッスンの導入ページで会話を通して文法や表現を学習する工夫がされております。また、解説と練習で学習項目の定着、英語4技能を組み合わせて自己発信ができるよう構成されている点などから、啓林館の教科書を選定いたしました。

No. 14の家庭基礎につきましては、図表が豊富で必要な情報に漏れがなく、題材の配置と難易度も適切であるということ。それから生徒自らの実践につながるようなコラムや課題の提示がされていることから、第一学習社の教科書を選定いた

しました。

No. 15の情報Ⅰにつきましては、講義部分と実習部分が分かれており、本校の授業形態にも合い、比較的短時間で実施できる教材も用意されているため、情報処理能力の確認、定着がしやすくなっております。デジタルコンテンツへの活用も可能であることから、東京書籍の教科書を選定いたしました。

No. 30のコミュニケーション英語Ⅱの三省堂の教科書は、今年度2年生が使用している教科書からは変更となっておりますが、今年度1年生がコミュニケーション英語Ⅰで使用している教科書からは、同シリーズの継続ということになります。学習の継続性を図るということ、レッスン最後の学習活動にも工夫が見られる点などから選定をしております。

No. 41のコミュニケーション英語Ⅲの啓林館の教科書も今年度2年生が使用している教科書からは変更となっておりますが、当該生徒にとりましては、1年次からの同シリーズの継続となっております。学習の継続性を図ることということと、英語4技能の習得にも適していることから選定をしております。

続きまして19ページから31ページはグローバル・サイエンス科の申請及び参考資料となっております。

普通科の申請書と同様の形式で記載をしております。

変更した教科書だけを見やすく整理したのですが、24ページの選定理由報告書となっております。

ここで24ページのNo. 6、9、26以外の教科書につきましては、普通科でも選定した教科書と同じものとなっておりますので、説明を省略させていただきます。

では、No. 6の解析学Ⅰにつきまして、No. 5の数学Ⅰの教科書に続いて使用予定の教科書となっております。記載されている問題のヒントも適切な量であり、数学Ⅲにつながる内容が発展で挙げられているということから、数研出版の数学Ⅱの教科書を選定いたしました。

No. 9の地球生物学につきましては、記述内容に本校生徒の興味関心を引くような工夫も見られ、学習効果を高めることが期待できるとともに、高度な内容の学習も可能であるということから、数研出版の高等学校 生物基礎を選定いたしました。

No. 26の探究物理Ⅰにつきましては、演習問題の内容、難易度が、本校の生徒にとって適正であるということから、数研出版の改訂版 物理を選定いたしました。報告は以上です。ご審議よろしくお願いたします。

重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて西宮東高校の選定委員会、ご説明よろしく申し上げます。</p>
西宮市立西宮東 高等学校教科用 図書選定委員会 委員長	<p>選定委員会を代表して、令和4年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。</p> <p>最初に申請に至るまでの経緯について報告します。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において、議決された、「令和4年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に基づき、選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針の1. 指導要領の内容に従い、本校における生徒の進路、適正、能力等を十分考慮し、教育課程実施上適切である。</p> <p>2. 各教材ごとに教科用記述内容を研究し、さらに地域社会の要望など客観的資料を含め、総合的見地から選定する。</p> <p>3. 各教科から推薦のあった教科書を本校教科書選定委員会において、再検討を加えて公正を期する。と決めました。</p> <p>この基準に則って、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>学区の拡大等により、ここ数年入学してくる生徒も変化しているため、注意深く調査研究を進めました。</p> <p>具体的には、本校に入学して来る生徒の基礎的な学力は年々高くなり、多くの生徒は、難関大学の進学を希望しております。そこで、高度な発展事項が含まれていて、生徒の進路実情をかなえるレベルのものであること。また、基本的な内容を応用したり、より深い学びへとつなげたりするための教材が充実した教科書を中心に検討をいたしました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月24日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>その結果は、採択申請書の35ページから45ページに記載しております。</p> <p>申請書の見方については、西宮高校と同様であります。</p> <p>なお、参考資料として、43ページから45ページに前年度対比資料も添付しております。35ページから38ページには、申請する教科書を全て記載しています。</p> <p>それでは、39ページをご覧ください。</p> <p>No. 1の現代の国語については、唯一文学教材が含まれている第一学習社の教科書</p>

を選びました。「現代語の分野」として扱うことで、より魅力的な授業展開が可能になるとともに、デジタル教材も豊富で視覚的にも情報を共有させやすい点などから選定いたしました。

No. 2 言語文化については、1年次の基本を学ぶのに適した教材が多く含まれ、さらにデジタル教材が豊富で生徒に情報を共有させやすいという点などから、東京書籍の教科書を選定いたしました。

No. 3の歴史総合については、教科書本体に加え、デジタルコンテンツや指導者用教材も体系的かつ網羅的な内容でありました。また図版や資料が効果的に掲載されており、生徒の主体的な活動を喚起するような授業展開が可能となるなどから、帝国書院の教科書を選定いたしました。

No. 4の公共については、全体的に、基礎的・基本的な内容が偏ることなく提示され、生徒の主体的な学習を促す工夫が随所に示されています。生徒の興味関心に応じて、深化・発展させられる工夫もされている点などから、東京書籍の教科書を選定いたしました。

No. 5である数学Ⅰ、No. 6にある数学Ⅱ、No. 7にある数学Aについては、いずれも数研出版の教科書を選定しました。どれも定理の証明などが省略せずに記述されており、明確な解説によって確実な知識・技能の習得ができるように工夫されていました。また、思考力・判断力・表現力の育成につながる要素が豊富に含まれており、生徒が自ら学びを深めることができるように工夫されている点などから、選定いたしました。

No. 8の物理基礎については、日常生活と関連付けた内容が充実しており、生徒の興味関心が高まる工夫がされていました。また、QRコードを読み取ることで、実験動画等を見ることができるため、予習や復習、オンライン学習をする際にも活用することができる点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 9の化学基礎については、学習内容がよく精選され、生徒にとって理解しやすい編集になっています。また、図や写真が鮮明で見やすく、視覚的にも理解を助ける工夫が十分にされているため、生徒の論理的思考力や判断力を養うことにもつながる点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 10の生物基礎については、身近な内容を多数扱っており、生徒が興味を持ちやすい構成になっています。また、QRコードを読み取ることで、実験動画等を見ることができるため、予習や復習、オンライン学習をする際にも活用することができる点などから、数研出版の教科書を選定しました。

No. 11の保健体育については、データなどの資料が豊富にあり、重要単語の種別

重松教育長	<p>なども分かりやすくまとめられています。また、生徒にとって身近な内容が充実しているため、主体的・協働的な学習活動が展開できる点などから、大修館書店の教科書を選定しました。</p> <p>No. 12の音楽Iについては、豊富な図版・写真等の資料を備え、資料集としての利用も可能な教科書です。また、経験や能力の異なった生徒が使用した場合もそれぞれに合った教科書の活用ができるよう、様々な角度から音楽を幅広くとらえられる点などから、教育芸術社の教科書を選定いたしました。</p> <p>No. 13の美術Iについては、定評のある作品群を並列して構成しており、多様な表現の比較が容易にできる工夫がされています。また、作品からそれぞれの表現の必然性を理解させるのに効果的な構成となっている点などから、日本文教出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 14の書道Iについては、図版が鮮明で見やすく、臨書学習に適しており、古典の拡大版の文字も、手本として活用しやすい工夫がされています。また、「人物と時代」「コラム」などの資料も豊富に用意されているため、学習を深めるのに役立てることができる点などから、東京書籍の教科書を選定しました。</p> <p>No. 15の英語コミュニケーションIについては、題材、活動とも充実した内容で、思考力・判断力・表現力を育成するのに適切な構成となっています。また、補助教材が豊富であり、様々な教育活動が展開できる点などから、数研出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 16の論理・表現Iについては、文法学習を土台としながらも言語活動を通して「話す」「書く」ための知識を得ることができる構成となっています。また、デジタル教材も教科書の内容と同じように構成されているため、効果的に活用しやすい点などから、桐原書店の教科書を選定しました。</p> <p>No. 17の情報Iについては、一般的な解説が高校生でも比較的分かりやすい言葉で記載されています。また、図解と例示がふんだんに取り入れられており、紙面もカラーユニバーサルデザインに配慮したつくりになっている点などから、日本文教出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 18の情報Iについては、難しい概念を平易に説明しており、分かりやすい点などから、実教出版の教科書を選定しました。</p> <p>報告は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、西宮養護学校選定委員会より、よろしくお願いいたします。</p>
-------	---

<p>西宮市立西宮養護学校教科用図書選定委員会委員長</p>	<p>選定委員会を代表して、令和4年度に使用する教科用図書採択について申請します。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告いたします。</p> <p>5月18日の教育委員会臨時会において議決された、「令和4年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」に基づき、選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を1. 西宮市教育委員会の採択に関する基本方針に従い、最も適切な教科書を選ぶ。</p> <p>2. 小・中・高の一貫性や教材の系統性を十分に考慮して適切なものを選ぶ。</p> <p>3. 各教科の主たる教材として、目標達成に適したものを選ぶ。と決めました。</p> <p>この基準に則って、各教科の教科書について、専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>特別支援学校の場合、特に、個々の児童生徒によって障害の状況等も様々ですので、一人ひとりの教育的ニーズについて確認しながら、調査研究を進めました。</p> <p>現在本校では、肢体不自由のみという単一障害の児童生徒はおりません。全員が知的、視覚、聴覚、病弱等の障害を併せ有する重度重複障害の児童生徒です。そうした実態を踏まえ、自立活動領域を基盤にした教科学習の進化を推進するという本校研究目標も十分意識しました。</p> <p>その上で、各教科、各学年の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月17日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>47ページ以降に小学部、中学部、高等部の順で記載しています。</p> <p>49ページから51ページが小学部についての採択申請書となります。</p> <p>小学部では、国語、算数、生活について一般図書を選んでいきます。</p> <p>49ページにありますように、それ以外の教科では、小学校、義務教育学校前期課程で採択された検定教科書を使用いたします。</p> <p>西宮養護学校では、授業形態として、学年や学年団の児童生徒全員で集団学習をする授業と、発達課題別に学習する授業を併用しています。集団学習の場合でも、担当教員が付きながら、個々の児童生徒の状況に応じた指導をしています。</p> <p>今回選定したこれらの図書は、集団学習の形態の授業での使用を想定しています。</p> <p>また、「生活」の教科書については、児童1人につき、小学部1年では1冊、小学部2・3年では2冊まで、小学4から6年では3冊まで採用することができます。</p> <p>しかしながら、来年度の児童についても全学年1冊とすることにいたしました。</p>
--------------------------------	--

なお、小学部1年につきましては、来年度入学してくる児童の詳細が現段階では分からないため、例年、検定教科書を採用しており、来年度も同様の方針であるため、一般図書としては1冊も報告に挙げておりません。

また、52ページに参考資料として挙げている図書は、兵庫県教育委員会の調査研究資料に掲載されていない図書を記載しております。

次に、54ページをご覧ください。

中学部についての採択申請書となります。

中学部では、国語、社会、理科について一般図書を選んでおります。各学年全員が同じ図書を選んでいきます。数学については、文部科学省による著作本、いわゆる星本を使用します。

No. 7の国語「ゆっくり学ぶ子のための国語4」を今年度から選定いたしました。文学教材と説明文教材が掲載されており、読むことや作文や詩の表現力の指導、聞く力や話す力の育成、生徒の言語実態に応じて言語や文法の指導ができるように構成されている点などから選定しました。昨年度は「ゆっくり学ぶ子のための国語3」を採択しています。

53ページにありますように、それ以外の教科では、中学校、義務教育学校後期課程で採択された検定教科書を使用する予定です。

先ほどの小学部と同じになりますが、55ページには、兵庫県教育委員会の調査研究資料に記載されていない図書を記載しております。

最後に、56ページをご覧ください。

高等部についての採択申請書となります。

56ページは、今回申請している検定教科書についての申請となります。

No. 1の保健体育については、カラーの写真や絵が多くページで使われており、生徒が興味を持ちやすく、内容を理解しやすくなっています。また、キーとなる言葉は太字で書かれており、視覚的効果も得られやすいなどの点から、第一学習社の教科書を選定しました。

No. 2の音楽Ⅰについては、全ページカラーになっており、写真も多く使われていることで、生徒が興味を持ちやすくなっています。教材として定評のある作品を扱っていることに加え、有名な楽曲を多く取り入れているため、生徒が興味や親しみを持ちやすい点などから、教育芸術社の教科書を選定しました。

No. 3の道徳の学研の教科書については、写真や絵、漫画等が多く使われており、生徒にとって内容を理解しやすい点などから選びました。また、中学部において使用している道徳の検定教科書との継続性もあるため選定しました。

	<p>57ページをご覧ください。</p> <p>57ページには、一般図書について選定したものを記載しています。</p> <p>No.1の職業「シリーズ生活を学ぶ5 遠くへ行きたいな」を今年度新たに選定いたしました。卒業後の自立に向けた幅広い学習を視野に考えたとき、交通ルール、交通機関の利用の仕方、レストランでのマナーなど、日常生活に必要なこと全般が文章や絵で分かりやすく網羅されている点などから選定しました。</p> <p>高等部になると教科書の内容を進路に関連付けて、生活に還元することが重要となります。また、卒業後の自立に向けた取り組みでも、模擬体験、実体験をセットで学習していくことが多く、また繰り返し学習していくことになります。</p> <p>一般図書を使うことは、このような学習活動、進路学習に適しており、加えて幅広い視野に立った言語表現活動を展開していくことも可能となります。</p> <p>報告は以上でございます。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
重松教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で説明が終わりました。</p> <p>これより質疑に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ採決に入ります。</p> <p>議案第24号「令和4年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件」については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。よって本件は可決されました。</p> <p>次に議案第25号「令和4年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」を議題とします。</p> <p>それでは、選定委員会より報告をお願いします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会副委員長	<p>本日は、委員長に代わりまして、報告をさせていただきます。</p> <p>はじめに、5月18日の教育委員会臨時会において決定された、「令和4年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に則り、令和4年度小学校、義務教育学校前期課程及び中学校、義務教育学校後期課程の教科用図書について</p>

は、前年度採択された教科用図書を採択することが決定しております。

ただし、中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）については、自由社の「新しい歴史教科書」が新たに発行されたことから、新たに採択替えを行うこととなったため、調査研究を行いました。

また、毎年の採択替えとなっております、小学校、中学校、義務教育学校の特別支援学級用の「一般図書」についても、調査研究を行いました。

経過報告をいたします。

5月18日の教育委員会臨時会において、「令和4年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」を決定いただきました後、5月24日に第1回選定委員会を開催いたしました。

その中で、「令和4年度使用義務教育諸学校教科用図書選定委員会報告方針」を決定するとともに、特別支援学級用の一般図書について、調査員会を設置し、調査研究を行うことを確認いたしました。また、中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）については、県教育委員会において行う、調査研究資料を基に調査を行うことを確認いたしました。

調査員について、「義務教育諸学校教科用図書選定委員会運営要領」に従い、特別支援学級用の一般図書は、調査員5名で構成いたしました。

なお、調査員のうち、教頭は学校教育課長が推薦、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭は各学校から校長が推薦し、選定委員会が委嘱いたしました。

5月28日に、第1回調査員会を開催し、採択方針と調査研究についての説明、教科書採択に係る公正確保等について確認するとともに、教頭を含む代表2名を選出いたしました。

その後、調査員による調査研究を行い、7月6日に、第2回選定委員会を、調査員代表及び事務局から調査結果の報告及び聴取を行い、報告書の加筆修正等を行い、本日の報告書を作成いたしました。

なお、公正確保につきまして、調査研究が静謐な環境の中で、公正公平な立場で行われたことを、合わせてご報告いたします。

次に、本日の報告書の概要について、報告をいたします。

報告書には、中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）教科用図書の調査報告として、県教育委員会において作成された、「令和3年度及び令和4年度使用中学校用教科書調査研究資料」、また、「特別支援学級用一般図書の調査報告」、の2種類の調査報告がございます。

「中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）の調査報告資料」につつま

<p>重松教育長</p>	<p>して、令和3年度使用中学校用教科書調査研究資料が、報告書の3ページから54ページに、令和4年度使用中学校用教科書調査研究資料が、報告書の55ページから85ページに記載しています。</p> <p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」につきましては、報告書の87ページから93ページに記載しています。</p> <p>後ほど報告させていただきます。</p> <p>以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ここで議案第25号の議事について確認いたします。</p> <p>中学校の歴史教科書につきましては、採択が新たにできるとのことですので、採択の方法としては、中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）について、1社をご推薦いただきたいと思います。その教科書を選定した理由も後で述べていただきたいと思います。</p> <p>次に、それをもとに採択となりますが、教育委員は5名いますので、推薦された教科書は5分の3以上であれば、それを採択します。5分の3に満たない場合は、上位2社について再度協議をして決定したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、まず、中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）の教科用図書の採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をよろしくお願いいたします。</p>
<p>義務教育諸学校教科用図書選定委員会副委員長</p>	<p>中学校、義務教育学校後期課程社会（歴史的分野）の報告をさせていただきます。</p> <p>第二回義務教育諸学校教科用図書選定委員会の協議の中では、ジェンダー等の現代的な諸課題の取り扱いや写真の色合い、ユニバーサルデザインについて、また西宮市の子供たちにとってふさわしい教科書とはなど、様々な視点で協議いたしました。また、GIGAスクール構想におけるICT機器の活用という点で、各社のデジタルコンテンツの特徴についても話し合いました。</p> <p>それでは、各発行者の特徴を申し上げます。</p> <p>東京書籍は、小单元ごとの「学習課題」や「チェック&トライ」、節ごとの「探求のステップ」の解決を積み重ねることで、問題解決的な学習を行い、思考力・判断力・表現力を高められるよう構成されています。また、Xチャートやピラミッドストラクチャ等を用いて物事を多面的・多角的に捉えながら学習内容を整理し、課題解決を図る工夫もされています。デジタルコンテンツも豊富に掲載され、他教科とリンクして学ぶこともできます。</p>

次に、教育出版は、「歴史のとらえ方・調べ方」の中で、身近な地域の歴史を調べようと題し、調べ学習の方法について述べ、見通しを立たせるための手順を示しています。また、各手順における方法の具体例を挙げ、レポートのまとめ方や発表の仕方などが示されています。災害の歴史を学ぶ・伝えるという單元では、SDGsを意識した問いが設定されるなど、現代的諸課題を踏まえながら、解決に向けて考える工夫がされています。

次に、帝国書院は、各節冒頭に大きなイラストを掲載した「タイムトラベル」を設け、学びに向かう意欲を喚起しています。また、「章の学習を振り返ろう」では、見方・考え方を働かせながら、論理的に説明する言語活動が設定されています。兵庫県に関する多くの内容を取り上げていることも特徴の一つです。

次に、山川出版社は、各章に設けられている「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」において、研究課題などを提示し、主体的に学びを深めることができるようになっています。各章の最初に、年表とその時代を象徴する資料や写真が掲載され、学習の見通しを立てるための工夫がされています。また、博物館や外務省のホームページとリンクしており、学びを広げる工夫もされています。

次に、日本文教出版は、見通しを持たせる「導入ページ」を設け、絵画等の資料サイズを大きくし、生徒の興味・関心を引き出す工夫をしています。また、資料をもとに考えたり話し合いを行ったりする「チャレンジ歴史」や、年表と地図を使って振り返る「アクティビティ」などの特設ページやコーナーを設定し、対話的な学習を行うことができる工夫がされています。公害問題については、環境モデル都市の紹介や、公害克服の歴史を特集しています。

次に自由社は、各章末に「調べ学習のページ」と題して、課題解決に取り組む工夫がされています。また、「時代の特徴を考えるページ」では、多彩な学習課題を提示し、様々な問題について考える場面を設けています。「対話とまとめ図のページ」は、その章のまとめ図を通して対話のモデルを示しています。多くの人物について、特設ページやコラムなどで取り上げていることも特徴の一つです。

次に、育鵬社は、「つかむ→調べる→まとめる→表現する」という問題解決学習の教材配列とし、知識・思考・判断・表現の一体化を図っています。また、「学習のまとめ」や「歴史のターニングポイント」などにより、思考力・判断力・表現力を育む言語活動の充実を図ったり、「私の歴史博物館、話し合い」を設定し、言葉で表現したりする工夫もされています。

次に、学び舎は、時代の特色をつかむための地図や写真などの資料が表示され、

<p>重松教育長</p>	<p>見通しをもって学習できる工夫がされています。また、「フォーカス」で歴史の舞台に焦点をあて、多角的に学習を深めることができる工夫がされています。SDGsやジェンダーフリーについて、コラムなどで取り上げ、考えるきっかけを与える工夫がされています。</p> <p>以上でございます。</p> <p>説明は終わりました。</p> <p>社会（歴史的分野）について、ご意見・ご質問はありませんか。</p> <p>ありませんね。</p> <p>では、ないようですので、それでは、それぞれ各委員の方からどの教科書にするかというのを決めていただきたいと思います。</p> <p>それでその際には、どういう理由でそれにしたのかということをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、山本委員からお願いします。</p>
<p>山本教育委員</p>	<p>結論から言いますと、東京書籍です。理由を簡単に説明します。</p> <p>私の観点でいきますと、まず主体的・対話的で深い学びということで、特に問題解決的な学習の構成。それから学習を通して見通しを立て、振り返ったりするための工夫。それから深い学び。こういうことで見てみました。</p> <p>それからもう一つは、教科書に関連する学習コンテンツ、特にそのあたりのことが最近すごく注視されてきているので、そのことでも、見てみました。</p> <p>最初の主体的・対話的で深い学びということでいくと、問題解決的な学習の構成ということは、全ての教科書会社が工夫していると思います。その中で東京書籍が章ごとの探究課題、章としての探究ということと、各時間の学習課題ということの二重設定の仕方でかなりしっかり工夫がされているということのを思いました。</p> <p>それから、特に東京書籍は、章ごとのまとめで先ほども説明がありましたが、思考スキルを使っています。これが要するに子供たちの深い学びということに大きく働いている。くらげチャートや、ダイヤモンドランキングなどの思考スキルを使った深い学びへの工夫というのがいいと思います。</p> <p>二つ目の観点の学習コンテンツの件ですが、これについては、QRコードがある教科書とそうでない教科書とがありました。東京書籍はあるのですが、非常に多種というか、いろいろな学習コンテンツが使われていて、トータルしたときに東</p>

藤原教育委員	<p>京書籍を選びました。</p> <p>結論を先に申し上げますと私も東京書籍がふさわしいかなと考えます。</p> <p>理由は三つほどあります。まず一つは、テーマとなっております主体的・対話的で深い学びという観点から考えたときに、適切な問題提起がなされているのか。合わせて各単元において、末尾でどういった深め方をしているのかというところがあります。そうしたときに問題提起に関しては、各社さんとも多くは工夫しておられて、さほどの差があるとは思わなかったのですが、末尾の深め方という点で、いろんなものがありました。話し合いを重視するもの。自分で考えることを重視するもの。あるいは、考えるというより知識的に広げることを重視されている会社さんもありました。そうしたときに、東京書籍が一番、その対話、生徒間の話し合いというものを重視していると感じ受けられましたので、この点優れていると考えました。</p> <p>それがまず1点と、次が、各ページに年表グラフがあるかどうかというところを重視しました。これがある会社さんとなない会社さんがありました。歴史というのは常に全体の中で今、自分はどこに立っているのかということを考えつつ勉強することが大事になってきますので、この年表グラフはあったほうがいいのかどうかと考えました。</p> <p>もう1点が、どれほどその解釈といいますか、歴史に対する解釈を教科書の中に入れてあるかという点です。といいますのは、歴史というのは、その時代を生きた人間が必死で成し遂げた所業について、それを私たちは未来の生き方に学んでいくというところに歴史を学ぶ意義というのがあると思います。</p> <p>その歴史について、いろんな事実があるわけですが、その解釈の仕方というものもいろんな解釈、多様な解釈があるということもまた歴史というものの楽しみの一つだと考えます。</p> <p>ただ、中学生であったり小学生であったり、義務教育課程で習う歴史というのは、その入り口の最初の段階なので、できるだけその歴史というのは楽しめるためにする最初の準備を行う局面になるわけですから、少なくとも公立学校の教育で学ぶ歴史というのは、解釈を余り打ち出さない方がいいのではないか。それは事実を学んだ上で、大人になっているいろんな解釈というのをそれぞれが深めるようになるのがいいのではないか、と考える次第です。これは決してある解釈が正しい、ある解釈が間違っている、と言いたいわけではなく、特定の解釈を打ち出すのがどうかという点の問題を指摘するものであります。</p>
--------	---

長岡教育委員	<p>その観点から考えると、東京書籍は、特定の解釈というところをむしろそこは、生徒らの議論に委ねるという姿勢が見られるため、相対的に優れていると考える次第です。</p> <p>もう1点、補足するとすれば、多文化共生都市ということで、神戸の特集を一つ設けているというのは、兵庫県の地元としてはポイントと考えます。</p> <p>以上です。</p> <p>私も東京書籍を推薦します。理由は2点です。</p> <p>1点目は、デジタルコンテンツが豊富な点ということです。</p> <p>それから2点目ですが、主体的・対話的で深い学びという点からいうと、いずれの教科書も学習のはじめ、あるいは終わりに基礎的な事項が確認できるような工夫がなされ、主体的に学習を進められるようになっていますが、特に東京書籍さんは、チェック、トライという二つのステップで、知識の定着を図ろうとしているところ。例えばチェックのところでは、教科書からまずその事実を抜き出し、そしてトライのところでは、それを自分の言葉で説明しようと、この二つのステップでもって、その事実をきちんと知識として定着しようという工夫があって、そう学習の流れが進むような工夫がなされているところが推薦の理由です。</p> <p>以上です。</p>
側垣教育委員	<p>私も結論から先に言うと東京書籍を選びました。</p> <p>この教科書を選択するときの観点としてやはり大切なのは、主体的・対話的で深い学びが、子供たちがどう進められるかというところが一番大きなところだと思います。</p> <p>まず一つは、いろいろな小グループでの参加型学習で、みんなで工夫して、対話して、そして学んでいくという、そういう場を提供するという教科書作りや、課題をつかんで追及して解決するという構成のもとに、問題解決的な部分も強調された教科書作りだと思います。</p> <p>それともう一つは、小学校で習った課題、あるいはいろいろな人物を振り返るような、そういう教科書作りをされていますし、もう一つは、やはりデジタル教材でのつながりですね。リンクをたくさん、それはやはり他社よりも東京書籍の方が工夫されているのかなというところで、私は東京書籍を選ばせていただきました。</p> <p>以上です。</p>

重松教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、私の方から。私も東京書籍ということです。</p> <p>観点としては、歴史上の諸課題について、解決に向けて構想する内容になっているか。また、社会的な見方、考え方を働かせるために、課題を迫及したり、解決したりする内容になっているかという観点が一つ。</p> <p>それから二つ目に、日本における伝統や文化等に関すること、あわせて領土に関することや様々な歴史的事件の取り扱いがどうなっているかということを見させていただきました。</p> <p>3点目に、全ての学校にコンピュータが導入されている現状において、QRコードを使つての教材や資料の取り扱い。並びに歴史の関心・興味が高まるような工夫がなされているか。という3点について、検討させていただきました。</p> <p>それぞれの教科書においては、創意工夫がなされていますが、やはり内容の分量に違いがあるなど、近代史・現代史における人物の取り扱いに教科書ごとの特色が出ているような気がします。その意味で言いますと、東書が一番、バランスが取れているかなということを思います。また、教材や資料の取り扱いにも、またQRコードの配列についても特徴が示されていますので、そういうことを勘案して東書と、私は決定させていただきました。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>社会（歴史的分野）に関しましては、5人とも東京書籍ということですので、東京書籍に決定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
重松教育長	<p>異議なしと認めます。よってそのように決しました。</p> <p>次に、特別支援学級用一般図書の採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会副委員長	<p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」につきましては、報告書の87ページから93ページに記載しております。</p> <p>特別支援学級用の児童生徒の教科書については、検定教科書や、文部科学省による著作本、いわゆる星印本を採用することをまず検討し、これらを使用することが難しい場合には、検定教科書などに代わる、教科の主たる教材として、絵本な</p>

どの一般図書を採用してもよいこととなっています。

本市では、平成23年度より、文部科学省及び兵庫県教育委員会が示す一般図書のリストをもとに、西宮市版のリストを作成し、教育委員会に採択していただいています。

本年度の調査研究では、令和3年度一般図書契約予定一覧及び、県教育委員会作成の調査研究資料をもとに、協議いたしました。

昨年度作成したリストから、令和3年度用一般図書契約予定一覧に掲載されていない13冊を一覧から外すとともに、特別支援学級に在籍する個々の子供を想定し、教科、学年、障害種別における適正を判断したり、一般図書を使用してどのような学習が展開できるかを話し合ったりして、新たに11冊を追加し、合計190冊の図書を掲載しました。

93ページをご覧ください。

こちらに、昨年度のリストから削除した図書と追加した図書をまとめております。第二回義務教育諸学校教科用図書選定委員会の協議の中では、感触を確かめながら学ぶ図書を使用する際の指導上の留意点や、ソーシャルスキルが学べる図書についてなどを話し合いました。

ページの上側の表に削除する13冊を記載しております。

削除にする理由については、令和3年度使用一般図書契約予定一覧に掲載がされていないためです。

次に、その下の表に記載している、リストに追加する11冊の図書について、説明をいたします。

表の一番左の番号で言うと、No. 10の「お手伝いの絵本」については、イラストの中に矢印や点線などが多くあり、視覚的に分かりやすく、身近な生活である掃除、洗濯、食事に分けられており見やすいため、追加をいたしました。

No. 23の「絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」は、生活の基本をイラストで楽しく習得でき、自分のことを自分でできるようになることによって、家族の役に立つことも学習できるため、追加をいたしました。

No. 57の「おれたち、ともだち！絵本 ともだちや」は、はっきりした色使いで絵が分かりやすく、平仮名とルビ付きのカタカナで読みやすくなっています。また、お話を楽しみながら友達の大切さについて、学ぶことができるため、追加をいたしました。

No. 65の「こどもずかん 0さい～4さいこどもずかん 英語つきよくばりバージョン」は、イラストが鮮明で見やすく、児童の興味を引きやすい作りになって

います。また、絵の説明がルビ付きになっていたり、英語の読み方にはカタカナ表記があったりして、大変わかりやすいため、追加をいたしました。

No. 99の「いちばんわかりやすい 小学生のための学習世界地図帳」は、豊富な写真と詳しい説明で世界の国々の様子が分かりやすく紹介されています。また、国旗カード、国名カルタがついており、ゲーム形式で国旗や国名を学習することができるため、追加いたしました。

No. 100の「いちばんわかりやすい 小学生のための学習日本地図帳」は、豊富な写真と詳しい説明で、日本の各地の風土や様子が分かりやすく紹介されています。また、都道府県カルタが付いており、ゲーム形式で都道府県名、県庁所在地、特色を学習することができるため、追加をいたしました。

No. 118の「デコボコえほん かずをかぞえよう！」は、数字やイラストが大きくて見やすく、具体物の数が凹凸をつけて表現されており、触ってわかりやすいため、追加いたしました。

No. 159の「あそびのおうさまBOOK むって」はワーク形式・オールカラーでイラストが大きく、取り扱いやすい紙質です。また、自由に色や線を描くことでイメージを膨らませることができるため、追加をいたしました。

No. 160の「あそびのおうさまBOOK はって」もワーク形式・オールカラーでイラストが大きく、取り扱いやすい紙質です。また、形や大きさを選びながら、発達段階に応じて取り組むことができるため、追加をいたしました。

No. 181の「学校では教えてくれない大切なこと(2) 友だち関係(自分と仲良く)」は、見えない感情が視覚化されており、イメージがしやすくなっています。さらに、様々なシチュエーションでの登場人物の気持ちがまんがで説明されており、児童の興味を引きやすいため、追加いたしました。

No. 182の「学校では教えてくれない大切なこと(6) 友だち関係(気持の伝え方)」は、様々なシチュエーションでの登場人物の気持ちがまんがで表現されており、児童の興味を引きやすく、自分や相手を大切にしたい関係について学ぶことができるため、追加いたしました。

同じく、報告書93ページの下段をご覧ください。

これまで既に西宮市版のリストに掲載されていた一般図書の中にも、他の教科や他学年、他の障害種別でも使用可能なものがあるかどうかについても調査研究を進めましたが、今年度は特に変更はありませんでした。

各学校で特別支援学級の個々の児童生徒が使用する一般図書を定める際は、担任を中心として、管理職、保護者、特別支援教育課が連携を図り、検討を重ねて、

重松教育長	<p>西宮市版のリストの中から、個々の子供の状況にあった、最も適切な教科用図書を選ぶこととなります。</p> <p>「特別支援学級用一般図書の調査報告」については、以上でございます。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>「特別支援学級用一般図書」につきまして、今説明がありました。原則としては、特別支援学級用の教科書については、検定教科書や文科省の著作本、いわゆる星印本を採用することをまず検討し、あと個々の子供の状況にあつて適切な教科用図書が選択できるように幅を持たせて、選んでおります。</p> <p>これにつきまして、何かご意見ございませんか。よろしいですか。</p> <p>では、これにつきましては、このとおり採択したいと思いますので、異議なしということで、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、その他の教科用図書について確認いたします。</p> <p>「小学校、義務教育学校前期課程教科用図書」「社会（歴史的分野）を除く中学校、義務教育学校後期課程教科用図書」については、基本的に、無償措置法第14条の規定に基づき、同一の教科書を採択しなければいけないとなっております。前年度採択された教科用図書を採択いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、議案第25号「令和4年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」の審議を終了いたします。以上をもちまして、臨時会を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>
-------	---